



『感謝』の気持ち忘れず ～ありがたきもの～

支部長 田口知彦



「ありがとう」という言葉は、次の時代に残したい言葉、自己肯定感を育む言葉、子どもが大人から言われて嬉しい言葉

業としていつの時代も選ばれていきます。

この言葉には、何か大切な一歩を踏み出すときに背中を押してくれる、心温まる不思議な力が秘められていると思前書かせていただきました。語源は、お釈迦様が弟子に説かれた一説にあるそうです。私たちが人間に生まれたことは、広い海で目の見えない亀が偶然浮いている丸太の穴に頭を入れるくらい有り難いことだということです。「有り難い」とはめったにないことを

微力を集めて力に

書記長 松岡賢太



「私たちは微力だけど無力じゃない」長崎高校生平和大使の合言葉

以前怒濤にも書かせていただいた言葉です。私たちは、無力ではないのです。一人ではできないことも、多くの仲間と繋があれば力になります。み

なさまの力を集め、大きな力にするのが組合です。組合員の声や力を集めた今年の成果を三つ紹介いたします。

①教育課程研究協議会の見直し
毎年研修のアンケートに教育課程研究協議会に課題がある点と出されて見直し。その声を県教委に届け続けた結果として、来年度から実施無しになりました。

②六年連続の給与改善は七年連続
人事院で出された給与改善の内容が、千葉県ではより改善しました。改善できていない県もあるなかで、連続改善が続いています。

| | | |
|-------|-----|---|
| 第200号 | 所生支 | 太 |
| 発行長 | 者賢集 | 部 |
| 編集 | 岡宣 | 所 |
| 印刷 | 路印 | 刷 |
| 松情小 | | |

第二〇〇号の
発行に寄せて
情宣部長 小玉 明守



表すそうです。だから、「ありがとう」という言葉には、感謝の気持ちで沢山詰まっているのではないのでしょうか。

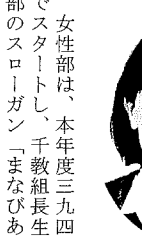
今、普段使っている権利も当たり前ではなく、あることが有り難きことだと思いがかりで、権利を勝ち取り、繋いで生きてきた先

③臨時的任用職員の空白期間の廃止
何年もかけて空白期間が無くなるように交渉してきました。一昨年度一ヶ月が一日になり、今年度やつと空白期間が無くなりました。

また、読まれる情宣紙にするために、どのような内容にするかを考え、話し合いました。そこから「あいいうお願」や「ABC順」に、それぞれの文字から始まる要め言葉を探したり、活用される情宣紙にするために、お店と交渉し、クーポン券を発行したりすることもできました。

最後に、お忙しい中、署名や動員等、みなさまにとりくんでいただきました。執行部一同、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

女性部活動を通して

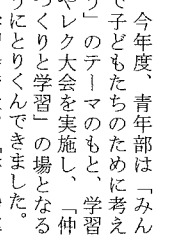


女性部は、本年度三九四人でスタートし、千教組長生支部のスローガン「まなびあい、ささえあい、めぐりあい」の精神のもと、活動にとりくんでまいりました。多くの御支援・御協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

本年度も、平和教育の一環として、「長生母と女性教職員会」の開催や、各分会での授業実践をすすめてまいりました。ピーススタッフ長生の方々の語りは、小学一年生

みんなで考えた青年部活動

青年部長 吉田 羊介



今年度、青年部は「みんな子どもたちのために考えよう」のテーマのもと、学習会やレク大会を実施し、「仲間づくりと学習」の場となるようにとりくんでまいりました。

最後に、今年度も青年部活動にご協力いただきました。来年度も青年部活動にご理解とご協力を願います。

から教職員・保護者まで、幅広い年代の人々の心を打つものでした。平和な未来を実現していくためには、この活動を続けていくことは大変意味のあることです。その役割を一人ひとりが担うべきであることを再認識しました。

また、観劇や講習会を通して、仲間づくりもすすめてまいりました。仕事と家庭の両立で日々多忙な女性組合員に少しでも和みの時間をおくりたい、毎年とくりくんでおります。多くの方々とのつながりがありましたことをたいへん嬉しく思います。

これからは、仲間とのめぐり逢いを大切に、学び合い、支え合いながら、一人ひとりが生き生きと輝いて働ける職場づくりをめざし、共にがんばりましょう。

題して大人の運動会を開催しました。各団が一九となって優勝をめざすことで、絆を深めることができました。

私には、青年部活動とおして、多くの仲間と繋がることができました。同世代はもろろん、様々な世代と関わり繋がり深められるのが青年部活動だと思えます。青年部員の方々、青年部活動とおして多くの仲間と繋がりを深めましょう。

最後に、今年度も青年部活動にご協力いただきました。来年度も青年部活動にご理解とご協力を願います。

みんなの夢を応援する「千葉教弘」
教弘保険で 自助・共助・公助

自助：教弘保険、まなびなどを自分のために
共助：人間ドック、宿泊施設補助などで助け合いを
公助：奨学金、学校研究助成金などは教育振興に
※各事業の詳細は「千葉教弘」で検索を！

公益財団法人教育公務員弘済会千葉支部
株式会社千葉教弘 TEL:0120(10)8851

くらしを築く 学生協

加入促進・利用拡大運動実施中

加入は簡単
1人 1,500円

学生協フリーダイヤル
☎ 0120(24)6294

みなさまの暮らしのパートナー 教職員共済

総合共済を基幹に、8共済で万が一に備えています。

- 総合共済
- 火災+自然災害共済
- 自動車共済
- 年金共済
- 団体生命・医療共済
- 新・終身共済
- 車両共済
- 交通災害共済

教職員共済千葉県支部
千葉県教育会館新館7F ☎ 043(224)3701

二〇二〇年度 千教組 長生支部役員 長研生紹介!

―支援に協力をお願いします―
千教組
中央執行委員
松岡 賢太 (萩原小)

千教組女性部
執行委員 田中 仁美 (東中)

千教組青年部
執行委員 田中 大空 (白濁小)

長生支部
支部長 山口 知彦 (五郷小)

副支部長 大貫 明宏 (萩原小)

書記長 中村 和嗣 (東郷小)

書記次長 木村 大樹 (中島小)

書記次長 瀬戸 伸太 (東中)

執行委員 磯野 弘典 (一宮小)

山口 晋 (南中)

岩本 洋之 (白子中)

野村 隆之 (日吉小)

松崎 健一 (八積小)

近藤 宏昭 (富見中)

江澤 尚美 (一宮小)

御須 靖一 (睦沢中)

女性部
副部長 近藤 祐子 (睦沢中)

副部長 江澤 尚美 (一宮小)

執行委員 中村 玲美 (鶴枝小)

黒子 宏子 (萩原小)

高木 早織 (豊岡小)

津嶋満理子 (東浪見小)

白井 美希 (睦沢小)

灰野 都 (長柄小)

青年部
部長 田中 靖人 (睦沢中)

副部長 御須 龍一 (南白濁小)

執行委員 渡邊はづき (萩原小)

木原 剛之 (長柄小)

片岡 剛之 (長柄小)

芳澤 広一 (東郷小)

嶋田 健人 (白子中)

二〇二〇年度
長期研修生決定!

理科 重村英伸 (緑ヶ丘小)

理科 齊藤亮平 (東中)

外国語活動 矢代朋美 (東郷小)

それ以外の研究テーマのせと、一
年間の研修に励んでください。

第69次教育研究全国集会 広島

一月二十四日(金)から二十
六日(日)にかけて、広島市内
で第69次教育研究全国集会が
開催されました。全国からの
べ9千人が参加。全体集会後、
34の分科会と特別分科会に分
かれ、621本の教育実践リ
ポートについて共同研究者と
ともに討議を深めました。



理科教育
齊藤 亮平(東中)

本分科会では、理科教育に
関して、様々な角度から現代
の問題点について話し合われ
地域に根ざした教材の開発や
防災教育との関連など、これ
までになかった発表が多
く、大変勉強になりました。ま
た、研究を行う際、一過性のも
のではなく、継続可能な内容
を構築するのが重要な内容
になりました。集会を通して「常
に指導の効果と必要性を考えな
がら指導する必要がある」と

よりよい教育環境整備のために

「子どもたちの最善の利益の
保障」をめざし、私たちの意見・
要望が十分に反映された教育予
算の確保、拡充を求めることを
目的に活動しています。
組織は、副支部長・書記長・書
記次長と事務職員部5名で構成
されています。

各分科会には、教育予算に関する
アンケートを依頼し、集計を行
うことでそれぞれの市町村予算
の特徴をまとめます。その結果
をもとに要望書を作成し、各市
町村教育委員会へ「教育条件整
備に関する要望書」を提出して
います。

これまでの活動の成果

- ・支援員の増員
- ・用務員の勤務時間延長
- ・学校司書の配置
- ・エアコンの設置
- ・留守番電話機能の導入
- ・留守番電話機能の導入
- ・次年度予算の要望内容
- ・校務支援ソフトの導入
- ・留守番電話機能の導入

いう共同研究者の方からの助
言は心に残っています。このよ
うな貴重な機会をいただき
ありがとうございます。長
生支部において、今回学んだ
ことを還元していきたいと思
います。



両性の自立と平等をめぐり教育
中田 早紀(長柄小)

本分科会では、意識・慣習
の見直し、労働、家族、性の
教育の3つの柱について討
議が行われました。最終日は
「気づく、つなげる、築く」を
テーマに討議しました。
男女やマイノリティの人
人だけでなく、「自分らしく」
生きていくためには「全員」の
問題であると認識し、「違い」

男女共同参画のとらえ方 パパ育児講座開催

十一月三十日(土)長生教育
会館にて、「パパを育てる。パパ
も育てる。」のテーマのもと、父
親に向けた育児講座を開催しま
した。
講師として、ちーばば会(千
葉市の子育てサークル)の方を二
人、茂原市の保健師二人をお招
きしました。ペテラパパ、新米
パパ、これからパパなど参加者は
全部で十一人です。

保健師によるおむつ替えやち
ーばば会の方による遊びや読み
聞かせ、また、質問コーナーでは
参加者の育児に関する疑問など
トクタイム。
初めてのおむつ替えや抱っこ
体験で悪戦苦闘したり、講師の
方が参加者に向けて読み聞かせ
をして下さったり、終始笑顔が
絶えず和やかな雰囲気の中で
家事や育児の話をするのがで
きました。

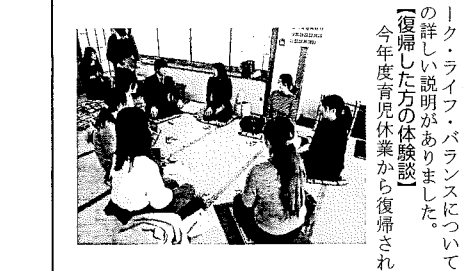
参加者からは「協力と時間の
共有が大切だと感じた。」「積極
的に育児に参加していきたい。」

全国教研では、全国各地か
らの実践報告を聞くことが
でき大変勉強になりました。
多くの実践報告の中で、共
通点は、「日本語教育に対す
る熱い思い」と「書く力をつ
けさせたい」という強い思い
でした。また、討議の中で印
象的だったのは、「作文指導を
通してどんな子どもたちに
育てたいかを考える」という
ことに寄り添い、一人ひとりの
実態に合わせた指導が大切
であると感じました。書く力
を引き出すには、教員が見本
を書くなどして自己開示を
子どもたちが書きたくなる
ようなきっかけを作ること
が大切であるというこも
学ぶことができました。

今回学んだことを、県や支
部の教職員の仲間、そして何
よりも目の前の子どもたちに
還元していきたいです。最
後に、「指導くださった多く
の先生方、温かく送り出して
くださった分科会・支部の皆
様に心より感謝申し上げます。」

カムバック・セミナー

一月二十五日(土)、育児休業
制度を活用し、来年度、職場復
帰される予定の教職員を対象に
「カムバック・セミナー」を開催
しました。本セミナーには、今年
10名の参加がありました。内容は
以下の通りです。
【復帰後の権利の活用方法】
宇野女性部長より育児のため
の休暇・休業制度と復帰後のワ
ーク・ライフ・バランスについて
の詳しい説明がありました。
【復帰した方の体験談】
今年度育児休業から復帰され
た方から話を聞きました。



た江澤先生(白子中)に、「経験
者から学ぶ育児と仕事の両立」
と題してご自身の体験をお話
いただきました。
【事務局職員部より助言】
芝崎先生(本納小)、御園生先
生(西小)を講師にお招きし、事
務的な手続きの具体的な助言を
していただきました。
【フリートーク】
講師の方々のアドバイスを受
けて、参加者どうしの情報交換
も行いました。
安心して学校現場に復帰する
ための一助となるよう、来年度
も継続してとりくむ予定です。
【参加者の感想】
「知らなかったことばかりで
とても勉強になりました。」「
復帰後は間違いない今より
大変だと思いますが、講師
の方の話聞き、少し「何と
かなるかな?」と不安が
和らぎました。」「復帰後すぐ、
担任を持つのは怖いな。」と思っ
ているのは私だけじゃないと知
り、ホッとしました。

| | |
|--|---|
| <p>サービス 龍王園 茂原の老舗 食事処 茂原市東郷1797-13 TEL0475-25-1208 (定休日:日曜日) ※駐車場あり 有効期間 2020.3.18-2020.4.30</p> | <p>テーブル毎に一皿 サービス SOCO おいしい料理・お酒はココに★グローバルダイニング 茂原市高師845-50 TEL0475-22-5439 (定休日:日曜日・年末年始) ※駐車場あり 有効期間 2020.3.18-2020.4.30</p> |
|--|---|